



## ガーデンシティ舞多聞てらいけプロジェクト第9回公開講座を開催しました。

2013年2月11日(月・祝)午後1時より、神戸芸術工科大学 クリエイティブセンターにて第9回公開講座を開催し、29組 53名の方にご参加いただきました。

【プログラム】 12:30受付開始

■第1部講演(13:00開始)

「てらいけプロジェクトの理念  
～住まうことを誇りに思えるまち～」

神戸芸術工科大学 佐々木宏幸 特別准教授

「てらいけの緑について」

大阪大学 栗本修滋 特任教授

■第2部「里山のある宅地」のグループWS第1弾

(14:30開始)

「緑を活用したコミュニティについて」

神戸芸術工科大学 長濱伸貴 准教授

「ワールドカフェ形式のワークショップ」

16:30終了



第9回てらいけプロジェクト公開講座の様子

### ■第1部 講演

第1部では、講演に先掛け、芸工大齊木崇人学長から挨拶があり、「一般的なニュータウンでは高齢化が進み、空き家も増えつつあるが、てらいけは未来の子供達に残す価値のある街であり、将来にわたって大学がサポートしたい」とお話をされました。

続いて、芸工大佐々木宏幸特別准教授から「てらいけプロジェクトの理念～住まうことを誇りに思えるまち～」と題して、これまで8回を重ねる公開講座の歩みの中で、てらいけプロジェクトでは、まちの価値を持続し、さらに向上させるために何が必要なのかを、海外の先進事例等を参考にしながら考えてきたことや、それには、住民が「住まうことを誇りに思う」という価値観の共有が重要な要因となるため、当プロジェクトでは、「建物と建物間の空間の価値」に着目し、コミュニティ全体の価値をあげる空間作りを目指し、それを実現するためのルール(建築協定)作りを行ってきたこと等をお話いただきました。初参加の方も、何度も参加頂いている方も、熱心に耳を傾けられていました。

今回の公開講座では、てらいけの緑にスポットを当て、環境学や資源保全学を専門とされる大阪大学環境イノベーションセンター栗本修滋特任教授から、古来からの人と緑の付き合い方を参考に、暮らしの中で自然と向き合い、自然を楽しむことの大切さをお話いただきました。そして、航空写真を用いて戦前からのてらいけエリアの変遷や、現在てらいけ

(次ページへ続く)



てらいけプロジェクトの理念についてお話される  
佐々木宏幸特別准教授



てらいけの緑についてお話される  
栗本修滋特任教授

で生育している多種多様な植物の紹介を交えながら、里山の自然は私達の想像以上に人の手が入っていることや、人工の法面に小さな苗を植えても 15 年もすれば、周囲の風景と同じようになるので、心配せずに「失敗したな」と思ったら、もう一度植え直すぐらいの気持ちで緑と付き合ってみましょうと力強い助言をいただきました。参加者の皆さんも緑と付き合うことへの気負いが軽減されたのではないかと思います。

また、先生方のお話の後、UR からてらいけにおける「緑地協定」の説明を行いました。先述の建築協定と緑地協定は、現在認可申請の手続きを行っています。

#### 【参加者の皆さんの感想】第1部講演についてアンケートのコメントから抜粋

- ・始めて参加しましたが、これまでの経緯がとてもよくわかりました。
- ・このワークショップで定められた協定的なものが、このワークショップに参加されてない方で購入される方々にも、このルールなどを守っていただけるのか、疑問に思いました。
- ・里山の様子、成り立ちや意味がよくわかりました。
- ・里山づくりは大変なこともあるが、協力し合えるコミュニティが形成できたらすばらしいと思う。

## ■第2部「里山のある宅地」のグループWS

第2部では、多様な宅地タイプのうち、里山のある宅地を対象としたグループワークショップを行いました。

まずは、UR からグループ募集等に関する概要を説明し、続いて、ランドスケープデザイナーの芸工大長濱伸貴准教授から、「緑を活用したコミュニティ」と題して、てらいけ北部の「里山」は、てらいけの入り口に位置し、まちの顔になることや、「里山」を「眺める・歩く・楽しむ・遊ぶ・育てる」をテーマに緑に囲まれた暮らしの事例紹介をしていただきました。

その後、参加者の皆さんは3つのテーブルに分かれ、自己紹介をしながら「里山のある宅地でしたいこと」についてお話いただき、「ツリーハウス作り」「果樹園」「緑の中で朝食を！」「エコな暮らし」「緑と一体化したリビングを作る」「森林浴」…といったとても楽しい暮らしイメージを発表いただく一方で、里山管理の方法や頻度等に対する質問もあり、長濱准教授から具体的なアドバイスをいただきました。

このワークショップをスタートに、舞多聞まちづくり館で開催した「里山サロン」(2/17、3/3 開催)など、参加者の皆さんの交流が続いています。



第2部「里山のある宅地」のグループワークショップの様子



ワークショップで参加者の話を聞かれる長濱伸貴准教授(中央)

#### ○今後の予定

次回の公開講座は、3月23日(土)に予定しています。「てらいけプロジェクトの住まいについて」と題し、環境建築に関する講義と、里山のある宅地のグループワークショップを行う予定です。是非ご参加下さい。

#### 【参加者の皆さんの感想】第2部「里山のある宅地」のグループWSに関するアンケートのコメントから抜粋

- ・里山の森を楽しむということを説明してもらってよかったです。
- ・興味があった。植物は単に生きている。時代とともに変化する。管理が必要。参考になった。
- ・時間が短くて、残念でした。里山のイメージが持てました。